

## 双葉町の教育の在り方について（論点）

### 【今後の審議の進め方について（平成24年10月16日第3回委員会）】

・双葉町で育つはずだった子供たちの教育をどのように考えるか

1. 双葉町の学校の再開の意義についてどのように考えたらよいか。

例えば、

- ①避難先の学校に慣れてしまった子どもたちも多いという現実の中で、子どもたちや保護者の視点から、学校を再開する意義はどのようなものがあるか。
- ②双葉町の地域社会という視点から、学校を再開する意義はどのようなものがあるか。

2. 学校を再開しようとした場合に、どのように学校を再開させるべきか。

例えば、

- ①どのような場所に学校を再開させるか。例えば、これからつくる「仮の町」か、現在の子どもたちが多い場所か、福島県内か県外か。
- ②再開する学校に多くの子どもたちを集めるようとするには、どのような学校・教育環境を整備すべきか。

3. 双葉町の学校ではなく、避難先の自治体の学校に引き続き通う子どもたちに対して、双葉町の子どもとしての意識、また子どもたち同士のきずなを維持させていくため、双葉町の子どもたちが日常的または定期的に集まれる場が必要ではないか。そうした場を双葉町の歴史・伝統・文化の継承の拠点として考えていくことも必要ではないか。

【生活再建部会資料 3：双葉町の幼児・小・中学校児童生徒の避難先一覧】

【生活再建部会資料 4：「7000 人の復興会議」における教育の在り方に関する町民の意見・提案（例示）】